



あまいブドウはどれだろう

8/29

御前崎こども園の年長児35人を対象としたブドウ狩りが、白羽地区にある松林久次さん(上岬区)のブドウ畑で実施されました。ブドウ狩りは松林さんのご厚意で12年前から行われています。自分でとったブドウを食べた増田凧紗さん(大山区)は、「甘くておいしかった。またやりたい」と満面の笑みを浮かべました。

◀先生たちに手伝ってもらいながらブドウを収穫



大切な子ガメの命を預かる

9/10

御前崎小学校でアカウミガメの受け入れ式が開かれました。同小学校では、昭和52年から地元でふ化したアカウミガメを飼育。齋藤航明くん(大山区)は、「伝統を引き継ぎ、放流に向けて一生懸命育てたい」と抱負を語りました。今回受け入れた20頭の子ガメは、来年の7月に放流される予定です。

◀ふ化したばかりの子ガメを見守る



敬老の日に感謝を伝えよう

9/12

地域子育て支援センター・さくらんぼで、「敬老の日プレゼント作り」が開かれました。参加したのは23組の親子。親同士が交流しリフレッシュしながらお孫さんの写真立てを紙粘土で作りました。清水真愛さん(佐倉二区)は、「日ごろの感謝の気持ちを伝えたい」と話しました。

◀温かい雰囲気の中で子どもと一緒に制作を楽しむ



児童がつゆひかりでお点前

9/14

年中行事に親しむお月見の会が丸尾記念館で開かれました。当日は地元住民ら約230人が来館し、「伝統文化子ども茶道教室」の生徒が用意した茶と菓子を味わいながら、秋の夜長を満喫しました。お点前を披露した児童は、「日本の文化に触れることはおもしろい」「日本の文化を学べて楽しい」と茶道の魅力を語りました。

◀普段の生活にない落ち着いた雰囲気を楽しむ